

地方都市において、単独世帯の高齢女性を対象として、ライフプランニングから相続までワンストップでサポートを提供する住宅等の整備を目指す

- 高齢期は不安（詐欺被害、終末期の看取りの不在、孤独死等）が尽きず、特に、既存の仕組みをうまく活用できない者や社会的に弱い立場に立たされる女性の悩みは大きい、「終活」を支援するサービスは少ないのが実情。
- 本提案では、ひとり暮らしで将来の身元引受人や身寄りがいない高齢女性を対象に、ライフプランニングから管財、看護、看取り、相続までワンストップのサービスを備えた住宅等の整備を目的に、事前の調査や検討を行う。
- 併せて、地域包括支援センターや社会福祉協議会等のフォーマルサービスでは対応できない困りごとの集約・支援策を検討し、多様なニーズに応じたサービスのあり方を検討する。

事業概要

代表提案者	特定非営利活動法人ライフサポートセンターHAPPY
共同提案者	—
事業実施場所	宮崎県都城市
事業実施内容	単独世帯女性の志向調査、事業のニーズ調査、事業運営計画策定、施設整備の準備、お助け活動の実施計画、「おひとりでも豊かに生きる」情報発信 等
事業実施期間	令和3年11月～令和5年2月

評価委員会での評価内容

- 低家賃の民間賃貸住宅等に住む女性が近年増加しているが、高齢化によってこれら世帯の住宅問題は深刻になる可能性があり、単身高齢女性への住まい確保やサポートは今後重要な課題になると言える。終末期を見据えると、看取りや管財、相続までワンストップ化する本提案の意義は大きい。
- 高齢化が進展し、空き家も多い地方都市を対象にした試みは興味深い。
- 色々な提案が盛り込まれているため、本モデル事業で何を柱にしたいのか見えにくい。事業を進めるにあたり、課題を整理し、取組内容の優先順位づけ等を整理・検討されたい。
- モデルとしての普及を考えるため、第三者による監視等も含めた事業実施体制のあり方を検討されたい。

事業のコンセプト

おひとりでも「安心住まい」「安心生涯」

～終活プラン作成で、最適住まい・管財・看護・相続執行までをトータルサポート～

【QOLを上げるHAPPYコミュニティの創造】

～ひとり身女性の相談内容、スタッフの意見からQOLとは～

